

府省名	総務省	部署名	行政管理局
-----	-----	-----	-------

取組のポイント

フリーアドレス等のオフィス環境を活かし、国会対応の担当者を一か所に集約。指示や報告、進捗管理の徹底等により、法案審議の答弁作成時間を短縮。

取組概要

国会答弁の答弁作成プロセスを徹底的に見直し、効率的な作成に取り組んだほか、フリーアドレスやリモートアクセス等業務環境の整備等が併せて行われているもの。

【法案審議前日の答弁作成業務プロセスの徹底見直し】

上下の職階や仕事の完成度追求よりも生産性を最優先にし、答弁作成前の上司との相談、新規・困難な問いの担当管理職による答弁作成、局長・審議官の修正指示への筆頭課長による対応など、答弁作成プロセスの見直しを徹底。また、監視チームを置くことで、答弁作成や調整過程での停滞を絶えず監視し、状況に応じた担当の振り直しも実施。

【オフィス改革が上記効果発揮に寄与】

平成 26 年度から導入したフリーアドレスのオフィスを前提として、担当者全員や大臣秘書官をワンフロアに集約し、柔軟なチーム編成を可能としているほか、リモートアクセスを活用し、常駐待機している質問レク担当が議員会館から質問を起こし・送付するなど即応体制を実現。

上記の取組により、法案審議時間が 1.5 時間長い場合にも、答弁作成に要する時間を 100 分短縮、管理職との相談が容易となるなど、コミュニケーション円滑効果も生まれている。さらに、担当職員に加え、省内関係職員の待ち時間・帰宅時間にも好影響があった。



担当者を一か所に集約 リアルタイムで進捗を管理 広いスペースで資料組み

講評

昨年表彰されたオフィス改革による効果を最大限に生かし、業務の標準化という王道にきちんと取り組み、連続して成果を上げている点や円滑な業務運営に向けた機動的な人員配置と条件整備(リモートアクセス、柔軟なチーム編成など)の点も評価。